

平成24年10月 9日

報 告 書

那須塩原市議会議長 君島 一郎 様

那須塩原市議会 第1班班長 山本 はるひ
記録者 鈴木 紀
室井 俊吾

下記のとおり報告会を開催いたしましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 平成24年8月11日（土）午後2時～3時50分

2. 会 場 東那須野公民館

3. 担当議員と役割

【担当議員】

山本 はるひ（班長）

櫻田 貴久（司会・進行）

菊地 弘明（3月・6月定例議会審議報告）

君島 一郎（議会活性化検討特別委員会報告）

鈴木 伸彦（放射能対策検討特別委員会報告）

鈴木 紀（記録）

室井 俊吾（記録）

【応援議員】

大野 恭男（写真）、関谷 暢之（会場）、吉成 伸一（受付）

4. 参 加 者 市民34名（男性23名、女性11名）

参加議員・職員など 23名

5. 主な意見・要望

質疑・応答

<放射能について>

Q：ホールボディカウンター購入をやめる理由は、「維持費がかかる、福島の病院で受けさせることで対応」と新聞報道にあったが、決定したものなのか。議会の見解と今後の対応について聞きたい。福島の病院に行くことになったときにはきちんと対応していただきたい。

A：9月議会で検討、協議をしていきたい。

Q：市の放射能対策に対する基本方針は決まっているのか。ホールボディカウンターの件、カリウムの件についてはどうか。

A：9月議会で協議してしていきたい。

Q：定期的な健康調査をずっと長くしていただきたい。

A：(要望のため答弁はなし)

Q：ホールボディカウンターについては4月の予算のまま通していただきたい。

A：(要望のため答弁はなし)

Q：線量を報告するのであれば、大丈夫ですよという具体的なものを発信してほしい。

A：議会に持ち帰って今後どうするか話してしていきたい。

Q：資料の放射能対策検討特別検討委員会の要望書P34の3.「限界測定検出値が高精度の機種を1台は導入されること」は何をイメージしているのか。

A：設置場所は本庁、各支所、出張所の4か所を要望。ただし、そこに同じものを入れると金額が大きくなるため、財政的な面を考慮し、1台は限界値の低いものでお願いしたということである。

Q：ホールボディカウンター・ガラスバッジ以外の健康調査方法を放射能対策検討特別委員会でイメージしているものはあるか。

A：現在のところ検討はしていない。

<その他>

Q: 私たちが先にニュースで知って、議員さんが後というのは議員さん軽視ではないか。市民に情報が伝わるような配慮をしてほしい。

A: 議会側には、新聞発表になる前に説明はある。

Q: 小学校で今年になってから子どもひとり当たり 500 円のコピー代を取られた。

A: 詳細を後ほど聞かせてほしい。

Q: タクシー券を去年は 1 年分もらえたのに、今年は半年分だったのはなぜか。

A: 新市長になり、財政的なものを見直したためである。

A: タクシー券は、6 月補正予算についており、結果 1 年分は出ている。

意見交換

<放射能について>

Q: 那須塩原市の野菜について、安心・安全でいられるようにするにはどうするか。

A: 要望として聞いておく。

Q: ホールボディカウンターを購入できない場合には、他の甲状腺検査などに回していただくことはできるのか。

A: 9 月議会で議論していくことになっている。

Q: ここはすごい汚染地帯だと PR すると福島県と同じ復興支援がもらえる可能性があると思うが。

A: 那須塩原市を含め 8 市町については、比較的線量の高い地域という形で指定を受けているが、福島県とほとんど変わらないので、福島県と同じ条件で国費で出してほしいと要望をしている。

Q: 除染実施計画により、仮置き場を決めて除染を進めていくことになると思うが、進捗状況はどうか。

A: 着々と予定通り進めているという報告がきている。

<議会活性化>

Q：議会の質問事項で同じものを取りあげている。会派の中でまとめることはできないのか。

A：会派質問では質問項目の調整をしているが、議員の一般質問についてはそれぞれの議員が自分の考えで質問しているので、その規制はしていない。

<区画整理>

Q：新幹線駅前（東那須野駅）の現状について、市を発展させるためなら、議員の行政視察で得たものを取り入れることはできないか。

A：貴重な問題を頂いたので、議会で審議していきたい。

<補助金>

Q：関谷では高校通学にバス通学補助金が出ていたが、カットになるのか。

A：旧塩原町でふるさと創生のお金で人材育成の基金を作り、通学費の補助に充てていた。合併後もその基金残金で補助しているが、なくなり次第補助終了となる。

<教育>

Q：那須塩原市として、子どもの教育に対し、どう取り組んでいるのか。

A：議会と教育委員会は別なので、教育委員会に聞いていただきたい。

<職員の再就職>

Q：市は天下りを使わなければならないのか。

A：議会は関与していないので、市役所に聞いてほしい。

<その他>

Q：厚崎公民館での議会報告会の時に、三本木地区の弥六堀の排水の状況などのことで発言し、お願いをしたところ、議員の方々がすぐに来て対応してくれた。ありがとうございました。（お礼の言葉）

6. 報告会の運営について

- 円滑な運営と進行ができた。
- 他の会場より女性や若い人（40代）の参加が多く良いことだと思う。
- 参加者は多く、活発な意見が出てよかった。
- 2時間という時間は適当だったと思う。
- 開催曜日や時間については、広い年代の参加を考えて、今後検討したい。
- 広報の仕方や、開催場所についても今後は検討していくべきだ。
- 質問は放射能に関してのことが多く、今後は幅広く質問、意見交換できるように工夫していきたい。
- 議員の個人的な意見は述べないということは、ほぼ守られていたと思う。
- 市民は議員との対話を求めている。そのための時間を取ることも必要だと思う。
- 市民は議員一人一人の考えを聞きたいこともあると感じたので、今後検討してはどうか。
- 班編成のやり方や役割分担については、今後の課題。